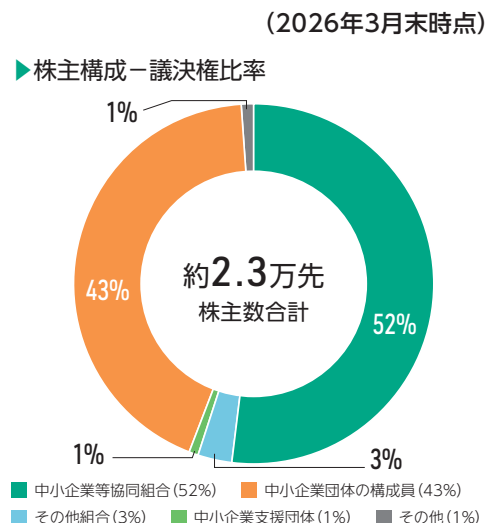


「中小企業による中小企業のための金融機関」として、株主でありお客さまでもある中小企業や中小企業組合等と商工中金がともに成長していくため、一層の還元充実や対話の機会の創出を目指してまいります。

株主構成

商工中金の株主は、全国の約2.3万先の中小企業及び中小企業組合等で構成されており、事業基盤と株主基盤が重なり合う特徴を有しています。

商工中金は、ステークホルダーの皆さまとの継続的な対話を通じて得られたご意見を経営戦略に活かし、お客さまと商工中金双方の企業価値の向上や持続的な成長につなげていきます。



株主・ステークホルダー向け情報発信(SR)

2025年度より、ステークホルダーの皆さまに向けて、当金庫の取組みを分かりやすくお伝えするためのコミュニケーションツールの作成を開始しました。

2026年3月に公表した「長期戦略・変革プラン」の概要等をコンパクトにまとめています。



株主との価値共有を深めるための方針策定

商工中金は、株主である中小企業及び中小企業組合等の皆さまと直接対話を重ねてきた経験や、民営化後の自律的経営への移行を踏まえ、株主との価値共有を一層深める観点から本方針を策定しました。

▶ 株主還元方針

基本方針	株主でありお客さまでもある中小企業及び中小企業組合等の皆さまと当金庫が共に成長する好循環の資本政策モデルの構築を目指し、これまで続けてきた安定配当を基本としつつ、市場環境や経営環境を踏まえ、中長期的に配当額を引き上げてまいります。
還元手段	確保した利益を基に、安定配当による還元を中心に実施します。
配当方針	中小企業金融の円滑化という目的遂行の観点から、景気変動にかかわらず、必要なリスクテイクに取り組み、健全な経営基盤を構築するため、内部留保の充実を図るとともに、将来の成長に向けた投資を行いながら、安定的な配当を行っていくことを基本方針とします。また、併せて、業績や資本の状況、市場環境等を総合的に考慮しつつ、中長期的な配当の引き上げを目指すとともに、株主還元の充実と株式の流動性向上を実現します。

▶ 株主コミュニケーション方針

基本的な考え方	商工中金は、株主が中小企業および中小企業組合等に限定された「中小企業による中小企業のための金融機関」です。株主でありお客さまでもある皆さまとの深度ある対話と、「中小企業経済圏」の確立・活性化を通じて、皆さまの成長と発展に貢献するとともに、商工中金自身の企業価値向上も目指します。
対話の対象	株主および潜在的株主である全国の中小企業および中小企業組合等を対象とします。
対話の方法	商工中金のビジネスモデルに対して理解を深めていただくための統合報告書の発行、決算発表等の情報発信の他、株主総会、経営諮問委員会、地区懇談会、全国各支店にある中金会、ユース会、各支店の担当ラインによる面談等を通じた直接的な対話を行います。
社内体制	株主はお客さまであるという特徴を活かし、経営陣(取締役、委任型執行役員、地区担当役員等)と営業店を中心に、本支店一体となって対応します。
フィードバックと対応	各対話の機会でもいただいたご意見は、取締役会や経営会議等を通じて社内でも共有し、お客さまの企業価値向上や各種サービスの改善につなげます。
情報開示と公平性	中小企業による中小企業のための金融機関として、経営の透明性を高め、アカウンタビリティを的確に果たすとともに、株主、中小企業者、投資家、預金者および各連携機関を含めたあらゆるステークホルダーの皆さまから一層のご理解・ご信頼をいただけるよう、事業活動や財務の状況などについて、公平かつ適時・適切な情報開示に努めます。